

北の道先案内人

とがし遊魚がいく!

鮎温泉食の旅

秋田の短くて熱い夏物語

今年5月の若葉、6月は新緑と

好天候だったが、7月は最悪のお日様の輝いた日があったのでしょつか。

7月の中旬、出口編集長が来店された日は大雨で、当店経営のザ・遊魚池は鉄砲水ならぬ大砲水に遭遇で、桟橋より50cm以上も増水し、鮎連の大脱走を食い止めるのに大変でありました。当然、日照時間が少ないから「たんぼ」は不作予想が発令されたが、8月に入るや連日の真夏日! お陰様で稲穂は完全に立ち直り、大豊作予想で、自然の力は凄いと改め

て感じられますね。

ザ・遊魚池は、本来野釣り場がオフシーズンに開園されるのですが、夏場の避暑地としては三方が小山に囲まれているのでペリーグッドの釣り場で、特に午後からは爽やかな風が吹き抜けて寒いくらい。8月15日には、毎年恒例の夏祭りを開催。昨年放流した相馬のグラマー嬢が体型を崩すことなく遊んでくれました。

また8月16日には、湯沢市にて猛暑の中、「大台自然公園INTOガシCUP」が開催。大会終了後の午後か

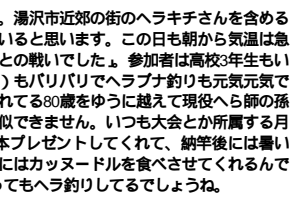
らは、一部有志と「釣りキチ三平」の舞台となった準山上湖、青鮎の棲む「貝沼」へGO!!

下界とは気温差5度前後あり、涼しい涼しい。2メートルほどの減水でどこにでも入釣でき、県外ナンパも含めて10数名の釣り人が、盛んにサオを絞ってる。案内してくれた高橋さんの情報(14日入れバク)は間違いでなかった。しかし14日は、赤マムシの大恋愛乱交パーティーが当地で開催されたそう、次から次へとマムシ軍団がウヨウヨと襲来し、飛んで逃げ帰ったそう(8月の貝沼は赤マムシとアブに注意せよの格言があるんだよ)。



【大台自然公園INTOガシCUP】

秋田は県南地区のお客様対象の年一度の真夏の釣りにあつた。一昨年の秋に釣り公園として誕生、和平沼と大台堤の2カ所に放流され、湯沢地区では人気No1の釣り場となっております。全国広しと言えど町内対抗戦がある市はないでしょうね。湯沢市は秋田県のヘラブナ釣り発祥の地でもあります。湯沢市近郊の街のヘラキチさんを含めると秋田県の愛好者の半数以上はいると思います。この日も朝から気温は急上昇で「鮎との戦いよりも暑さとの戦いでした」。参加者は高校3年生もいましたが「仕事(漆塗り師さん)もバリバリでヘラブナ釣りに元気元気で孫さんの愛称で皆さんに親しまれてる80歳をゆうに越えて現役ヘラ師の孫さんの偉さは、絶対他人では真似できません。いつも大会とか所属する月例会の朝には全員にバナナを1本プレゼントしてくれて、納竿後には暑いときは全員に飲み物を、寒い日にはカッスードルを食べさせてくれるんですよ。孫さんは絶対100歳になってもヘラブナ釣りにしててほしいよね。



「マムシが来たなら考えるべえ」と速攻で釣り座をセット! 5分くらいエサ打ちしたら高橋さんが1枚目ゲット。アタリは頻りにあり、8寸前後の青ペラを、透明度の高い水中から釣り上げるのは最高の感動だ。残念なことに、浪漫溢るる貝沼にもブラックバスが放流され、イモリ他ジャミは皆無となり、小ペラの姿も消えてしまった。昨今、放流は遠のき気味で、この何年間に風化されなければと祈るばかりだ。「せへせへ来夏は、貝沼へ遊びにきてたんせ!」。



貝沼より車で10分足らずで、日本三銘うどん(讃岐うどん・きしめん)のひとつと言われる「稲庭うどん」の産地があります。300年以上の歴史を持つ、直営店がたくさんありますよ。また、「西馬音内」は190年もの歴史を持つ手打ちそばが有名で、町内にはたくさんのお蕎麦屋さんがあり、色々な味が楽しめますから、蕎麦好きならぜひ、西馬音内へいらっしやい!

「貝沼」より車で数分、「小安峽温泉」があります。江戸時代より大勢の湯治客で賑わいを魅せた名湯中の名湯です。熱い熱い温泉だよ。ここへ泊まれたらぜひ「大噴射」を見て頂ね。高さ60mの断崖絶壁の岩の裂け目から轟音とともに白煙化した熱湯が吹きだすさまは迫力満点! 温泉宿は10数件あります。



秋田の8月は夏祭り一色です。秋田の祭と云うと、130万人もの観光客が来秋する「竿灯祭り」があまりにも有名だが、竿灯が「動」とすれば、湯沢市界隈の祭は「静」だろう。お薦めは「湯沢絵灯籠祭り」と「西馬音内盆踊り」だ。「西馬音内盆踊り」は、700年もの歴史をもち、いまだにその歴史には謎があるようで、豊作祈願と滅びた城主をしのんだ踊りがあわさったと伝えられ、亡者を連想させる彦三頭巾と編み笠で顔を隠した踊り手は、色とりどりの布を縫い合わせた「端唄」と呼ばれる衣装をまとい、滑るような足の運びに流れるような手の動きを披露。おはやしにに合わせて舞い踊る姿がかがりに火に照らし出され、幻想的な雰囲気です。今ベストセラーの渡辺淳一「愛の流刑地」に登場する、八尾の「おわら風の盆」も、胡弓の響きに合わせた踊り手が、揃いの浴衣で繪笠の間から少し顔を覗かせるその姿は、幻想的で優美だそうである。



【遊魚池夏祭り】毎年真夏のイベントで、競技方法は7枚の総重量で「10枚まではフラシへ入れることができますが、入れ替え出来ません」ゆえに駆け引きと回り近所との心理戦の戦いですから「楽しい釣り会です」。今回は6時スタート! 朝方は小ペラ主体でしたが9時頃から昨年放流した相馬産のグラマー嬢が楽しませてくれて「朝方の小ペラをフラシに入れた方は大失敗の巻でした」。



秋田藩佐竹南家5代目公に嫁いだ京都の姫君が、京都への思いを短冊に記し青竹に飾り付けたのが由来とされており、巨大な絵灯籠が街に浮かび上がる光景は幻想的で神秘的に魅せられます。



トガシ釣具店オリジナル製品

「蒔絵」転写シール

立体感があります! エサボールをはじめ浮子箱・仕掛箱・ヘラバック等にも転写できます。1枚消費税込込み1600円(価値観は転写したらわかりますよ)1枚から発送いたします。(送料サービス)